トピック（テーマ）			柴崎虎五郎
ねらい			明治中期の長野県教育、特に農村教育に力を注ぎ、最後は小県郡丸子町の町長となった柴崎虎五郎。彼の実践教育の数々を調べる。
キーワード			福沢諭吉、下村亀三郎、工藤善助、保科五無斎百助、養蚕国、製糸国、機業国、機業講習会、染織講習会、信濃染織同志会、長野師範学校、丸子、西陣、桐生、足利、小県郡丸子学校長、上伊那郡赤穂尋常高等小学校、福沢泰江赤穂村長、赤穂農工補習学校、赤穂染織学校、赤穂高等学校、ハワイホノルル日本人学校、丸子音楽隊、信濃教育会雑誌、小県昆虫研究所設置之趣旨、
概要を知るためのツール	1	書名	信州近代の教師群像
		著者名	中村一雄／著
		出版社	東京法令出版株式会社
		出版年	1995
		内容紹介	信州教育を推し進めた主要な人物の一人として柴崎虎五郎を取り上げている。目次には「柴崎虎五郎の機業染織講習」とあり、明治中期の信州の農村に養蚕・製糸だけでなく機業を起こすべく実践した人として評価している。
資料リスト	1	書名	ふるさと上田人物伝
		著者名	阿部勇、小平千文、児玉卓文、滝澤正幸／編著
		出版社	上田市教育委員会文化振興課
		出版年	2017
		内容紹介	実業教育の実践者のサブタイトルで柴崎虎五郎の生涯が簡潔に記されている。福沢諭吉、小県郡長中島精一、松井須磨子などの名も見える。校地にブドウ栽培、丸子音楽隊の結成など明治中期の先駆的な活動が紹介されている。
	2	書名	上田は信州の横浜だった
		著者名	阿部勇／著
		出版社	上田小県近現代史研究会
		出版年	2013
		内容紹介	「上田からはじまる音楽教育」の項。長野県初の楽隊「丸子音楽隊」を結成し、西洋音楽を学校から村や町へ広げた丸子学校の校長柴崎虎五郎。蚕糸業の富をバックに音楽隊が結成できたことを紹介している。
	3	書名	暁雲
		著者名	山岸勝／編
		出版社	下村亀三郎伝記刊行会
		出版年	1980
		内容紹介	本書は製糸結社「依田社」社長下村亀三郎を顕彰するために刊行されたのであるが、下村亀三郎を教育した人として柴崎虎五郎が随所に取り上げられている。竜野八郎は「柴崎虎五郎先生」で「この大教育者柴崎はすでに述べた如く実によき亀三郎の理解者」と記している。柴崎虎五郎自身が「長野新聞」に投稿した「嗚呼下村亀三郎」と題した亀三郎への追悼文からは虎五郎の人柄がうかがえる。
	4	書名	丸子中央小学校百年史
		著者名	丸子中央小学校百年史編集委員会／編
		出版社	丸子中央小学校百年史刊行会
		出版年	1973

		内容紹介	草創期から明治中期の実学教育まで、柴崎虎五郎の地域に根ざした教育内容を詳しく紹介している。
	5	書名	信濃教育会雑誌
		著者名	柴崎虎五郎／著
		出版社	信濃教育会
		出版年	1890-1900
		内容紹介	教授法、栽培、飼育、生理、被服、洗濯、教材、教具、遊具など執筆内容は多岐に及んでいる。そのすべては彼が実践したことであり、6回分は「実験片々」と題している。
	6	書名	教育実践
		著者名	柴崎虎五郎／著
		出版社	小県上田教育会
		出版年	1901
		内容紹介	国語科、歴史科、理科、地理科、図画科、算術科、体操科などに分かれ、国語科の中では読書、綴り方、習字などの実践結果を載せてある。校庭にブドウを植え、校舎の避暑に役立てる、遊戯場として活用する、販売して学校の収入源にする、昆虫の農業利用などの実践が書かれている。明治33年の『信濃毎日新聞』には彼の教育実践「学校の庭に植へたる葡萄樹」ほか「新按学童貯金法」などが紹介されている。
雑誌	1	論題名	十年間の実験
		著者名	柴崎虎五郎／述
		雑誌名	雑誌信濃教育　4
		出版年	1982.5
		巻号頁数	第49号
	2	論題名	「長野縣方言對照表」(明治二二年)とその語彙について
		著者名	大橋　敦夫／著
		雑誌名	総合文化研究所所報　学海
		出版年	2017.3
		巻号頁数	第3号